

令和7年

## ヒヤリハット事例集

一般社団法人千葉県産業資源循環協会  
安全衛生推進委員会



## 目次

1ページ ~ 8ページ **【中間処理・最終処分】**

9ページ ~ 14ページ **【収集運搬】**

15ページ ~ 20ページ **【外注作業・その他】**

## ヒヤリハット事例【中間処理・最終処分】

### 《激突され》

1 重機と接触しそうに	
場所	破碎ヤード内
発生時	重機で破碎作業中
発生状況	新入社員が重機オペレーターに話しかけるために作業範囲内へ侵入。 重機オペレーターが新入社員の侵入に気が付き注意した。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>重機オペレーターへの声掛けは、「無線」又は「作業範囲外」からする。</li><li>新入社員教育を徹底する。</li></ul>

2 重機と接触しそうに	
場所	新保管庫前
発生時	フォークリフトでフレコンを新保管庫に格納の際に後退したとき
発生状況	スイーパーがいつもと違う位置に停車。 感覚で後退(バック)したため、スイーパーと接触しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>後方確認は毎回必ず行う。</li><li>作業範囲内に他の物を置かない。停めない。</li></ul>

3 重機と接触しそうに	
場所	保管庫前
発生時	通路を横断中
発生状況	作業終了でショベルがバックしたので通路を横断した。 横断中に急にショベルが前進した。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>ショベルが完全に停止後に通路を横断する。</li></ul>

4 重機と接触しそうに	
場所	工場内
発生時	積込み作業
発生状況	大型ダンプがタイヤショベルの後を通りぬけ接触しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>安全確認の徹底。</li><li>一旦停止し両車確認後の作業。</li></ul>

5 重機と接触しそうに	
場所	プラント内作業棟出入口
発生時	重機移動中
発生状況	走行中の他の重機と接触しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>建屋等見通しの悪い所から退出する際に一旦停止する。</li><li>必ず前方・左右の安全確認の励行。</li></ul>

## 《激突され》

6 重機と接触しそうに	
場所	保管庫
発生時	重機で作業中
発生状況	左保管庫のゴミをショベルで運ぶ際に1m位後退した所で、右ピットから業者トラックが発進してきた。 後方確認をしながらバックしていたので事故にならなかった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者トラックは前方を注意する。</li> <li>・「まさか発進しないだろう」と思い込まず、トラックがいないことを確認して重機を動かす。</li> </ul>

7 重機と接触しそうに	
場所	リサイクル施設のプラットホーム
発生時	フォークリフトで荷役運搬作業中
発生状況	フォークリフトの後方を人が横切りヒヤリとした。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークリフトなどの重機が動いているときはむやみに近づかない。</li> <li>・重機と人の優先順位を決め、ルール化する。</li> </ul>

8 車両と接触しそうに	
場所	工場前市道
発生時	搬入車両誘導時
発生状況	工場前面の市道に出ようとした際に通行車両に轢かれそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場から市道に出る際は左右の指差し確認を行うようにした。</li> </ul>

9 重機と接触しそうに	
場所	プラント内作業棟
発生時	重機移動中
発生状況	作業棟内よりフォークリフトが前方を確認せずに移動してきた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋等見通しの悪い所から退出する際に一旦停止する。</li> <li>・必ず前方・左右の安全確認の励行。</li> </ul>

10 接触しそうに	
場所	主灰保管庫前
発生時	作業中
発生状況	トラブル対応で焦り、アームロールが斜め掛けのま3~5m前に進んだ。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焦らない。</li> </ul>

## 《激突され》

11 顔に接触	
場所	処理場のピット
発生時	積載廃棄物を載せたアームロールコンテナの後部扉を開けるとき
発生状況	フックを外したら手が滑った。 フックが跳ね返り顔面に当たる。 目に当たっていれば大怪我になったが、幸い激痛だけでした。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>フックをしっかり掴む。</li> <li>顔を近づかない。</li> </ul>

## 《飛来・落下》

12 フレコンに接触	
場所	中間処理場
発生時	ユニック車からフレコンを荷降ろし中
発生状況	玉外しが出来ていない状態でバケットを動かした。 フレコンが振られ手元作業員に軽くかすった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>手元作業員は必ずオペレーターの見える位置で明確な合図を送る。</li> <li>玉外し後は吊り荷直下や旋回範囲には絶対に入らない。</li> <li>具体的な合図を決めて共有する。</li> </ul>

13 重機で踏みつけ接触しそうに	
場所	場内
発生時	重機走行中(キャタピラー・タイヤ共)
発生状況	床に飛散していたペットボトルを踏んでしまい、勢いよく外に飛び跳ねた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>受入れ施設なので難しい点はあるが、走行ルートの事前確認を行う。</li> <li>極力踏まないように走行する。</li> </ul>

14 顔に落下	
場所	主灰建屋内
発生時	主灰コンテナへ落下する灰量等を確認中
発生状況	硬い灰が落下し、左目下周辺にあたった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>灰落下中はコンテナ周辺には近寄らない。</li> </ul>

## 《崩壊・倒壊》

15 荷崩れで接触しそうに	
場所	保管ヤード
発生時	置移動時
発生状況	置が荷崩れを起こしてしまい近くで作業している作業員に置が接触しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷物の運搬を行う際は作業半径内の立ち入りを禁止させる。</li> </ul>

## 《崩壊・倒壊》

16 荷崩れによる通行障害	
場所	1号炉入口前
発生時	配達員荷物配達中
発生状況	物資配達員が台車で市道を横断中、荷物が崩れていた。 他の車が通ると思い、何人かで片付けを行った。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>段差をなくすような改修。</li> <li>重量物の量が多い場合は事務棟前の車止めに駐車する。</li> <li>安全に荷物を受け取れる体制を会社から運送会社に周知することが必要。</li> </ul>

## 《転倒》

17 転倒しそうに	
場所	左保管庫
発生時	作業中
発生状況	イオン交換樹脂がフレコンの中に入っていたが袋が破れて中身が出ていた。 中身が床に散乱し足を滑らせ転倒しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>中身が出ないように運搬する。</li> <li>ピットで受入対応する。</li> </ul>

## 18 床に落下したPETボトルで転倒しそうに

場所	PETボトル圧縮機周辺
発生時	PETボトル成型品をパレットに載せようとしたとき
発生状況	床に落ちていたPETボトルを踏み転倒しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな清掃を心掛ける。</li> <li>手元足元の確認。</li> </ul>

## 19 日常点検における注意力の高さ

場所	2課フォークリフト置き場
発生時	日常点検中
発生状況	フォーク点検中リアタイヤがぶれていることが分かりメーカーに確認依頼した。 そのまま乗っていたらと思うとヒヤッとした。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>メーカー点検を依頼。</li> </ul>

## 《墜落・転落》

20 作業中に落下しそうに	
場所	燃焼炉コンベアのヘッド側
発生時	設備の蛍光灯を交換するとき
発生状況	高い場所での作業で落下しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>脚立、安全帯を使用する。</li> </ul>

## 《墜落・転落》

21	階段から転倒しそうに
場所	階段
発生時	階段を歩行中
発生状況	雨天時に階段で滑り転びそうになった
再発防止策	・必ず手すりにつかまり昇り降りする。

22	足場から転倒しそうに
場所	荷下ろし場
発生時	アームロールのシートを畳むとき
発生状況	狭い足場で上を見上げながらシートのしわを整えていると、バランスを崩し、足場にしていたステップを踏み外そうになった。
再発防止策	・足場を確認し落ち着いて作業にあたる。

23	階段から転倒しそうに
場所	処分場
発生時	作業中
発生状況	階段から滑り落ちそうになった。
再発防止策	・足元を意識する。

## 《高温・低温の物に接触》

24	あわや失明か
場所	分析室
発生時	小型蒸留器でフッ素の蒸留作業中
発生状況	ガラス器具の接合部に隙間ができているようで保護メガネをかけず目を近づけて確認。あわや失明する可能性があった。
再発防止策	・分析室に入室時、前室で白衣と保護メガネの着用を入口に掲示し徹底する。 ・緊急時用の洗浄ボトルやシャワーは設置済み。 ・緊急時の使用方法について、再度、確認と周知徹底をする。

## 《破裂》

25	異常時の適切な対応力
場所	単独処理設備
発生時	処理ドラム交換時
発生状況	ドラムの蓋を開けようとしたら少し圧力がかかっておりヒヤッとした。ゆっくり液が出てこない様注意して作業を行った。
再発防止策	・異常が発生したら直ちに作業を停止する。

## 《踏み抜き》

26 点検時における注意力	
場所	ライン設備に付帯している点検用歩廊
発生時	設備点検中
発生状況	床底材の鉄板が裏側から腐食劣化していて、荷重をかけると足が床抜けするところだった。
再発防止策	・外装側だけでなく裏側も防錆塗装処理し腐食対策を実施。

## 《その他》

27 熱中症対策の強化へ	
場所	工場屋内
発生時	清掃作業中
発生状況	立ち眩みがおき、ふらついて転倒しそうになった。
再発防止策	・作業前の水分、塩分補給。 ・WBGT値に応じて作業する。

28 緊急時の定期的な訓練	
場所	工場内(RPF処理棟)
発生時	中間処理作業時
発生状況	リチウム電池からの火災発生に慌ててしまい、役割分担を忘れてた。
再発防止策	・火災発生時のマニュアルはあるが、再度確認を行う。 ・定期的な訓練を行い教育を行う。

29 点検時における注意力の高さ	
場所	1号炉
発生時	肉厚測定時
発生状況	受入槽の肉厚測定をしたところ基準値を下まわるところを発見し上長に報告した。
再発防止策	・未然に防ぐことは難しいが、普段の作業から点検を重ね異常がないか確認していく。

30 点検時における注意力	
場所	2号炉
発生時	停止時
発生状況	停止時に直投施設を点検。 プッシャーがゆっくり動いているのに気づきヒヤッとした。 確認したらエアーが少し残っていた。
再発防止策	・直投の中に入って点検する際は二人作業で常に状況を見ながら作業する。 ・停止中もゲートが下りてこないように改良する。

## 《その他》

31 作業手順相違	
場所	荷下ろし場
発生時	誘導時
発生状況	受入車両に荷下ろし場へ誘導し、荷下ろし準備をしていたらドライバーがホースを接続しようとしていてヒヤッとした。 ドライバーに注意したら初めての人だった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライバーとコミュニケーションをとる。</li> <li>勝手な行動をとるドライバーがいた場合は上長に報告連絡する。</li> </ul>

32 作業手順の確認不足	
場所	事務所横
発生時	停車 燃料補給時
発生状況	補給中にも関わらず重機を動かしてしまった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>重機がなぜそこにあったか疑問に持ち意識をする。</li> <li>動作前に周りの確認。</li> <li>周囲に重機の利用をインカムで許可をとる。</li> </ul>

33 目に入りそうに	
場所	保管庫
発生時	0.25のバケットを消化ホースで洗浄中
発生状況	水が跳ね返り目に入りそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護メガネを付ける。</li> </ul>

34 火傷しそうに	
場所	予冷室前
発生時	熱交エアーブロするとき
発生状況	エアーブロをするためにロングからショートに付替時にヤケドしそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷めてから付替える。</li> <li>皮手を二重にする。</li> </ul>

35 火傷しそうに	
場所	場内
発生時	点検時
発生状況	場内点検時にファンの横を通ると熱風が吹いておりヒヤッとした。 すぐに点検部署に連絡をした。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検時は、回転方向まで確認をする。</li> </ul>

## 《その他》

36 作業ルールの欠如	
場所	2号炉ヤード
発生時	積込み作業中
発生状況	ダンプ積込みをしていると業者作業員が近づいてきてヒヤッとした。 作業員に立ち入り禁止の看板があるので守るよう注意した。
再発防止策	・定修時の作業員に今一度、ヤード内のルールを周知させる。

## ヒヤリハット事例【収集運搬】

### 《公道》

1 対向車と正面衝突しそうに	
場所	国道
発生時	片側一車線を走行中
発生状況	後方の車両が二車線と勘違いし、当社トラックの横についた。 対向車と正面衝突しそうになっていた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>すぐに安全な速度まで落とし、安全を確保。</li><li>クラクションやヘッドライト等で周知する。</li></ul>

2 車両と接触しそうに	
場所	片側二車線、右折レーンの交差点の手前
発生時	第二車線を走行中
発生状況	前方右折レーンが混んでおり自分のいる第二車線まで伸びていた。 左後方を確認し左側へ車線変更し、混雑している列の隣を通過しようとした。 第二車線の右折レーンに並んでいた車がワインカーを点滅させると同時に車線を変更したために急ブレーキを踏んだ。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>混雑している車線の横を通過する際は、急に車が飛び出してくれるかもしれない。という気持ちで運転しているが、実際に遭遇すると慌ててしまった。</li><li>より速度に気を付け、慎重に通過するようにする。</li></ul>

3 原付と接触しそうに	
場所	一般道
発生時	最前列で信号待ち
発生状況	信号が変わり発進しようとしたら、左側から原付がすり抜けて自分の前に進入し接触しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>信号が変わっても直ぐに発車せず、一呼吸おいて左右をよく確認後に発車する。</li></ul>

4 歩行者と接触しそうに	
場所	一般道交差点
発生時	ごみ収集走行中
発生状況	見通しが悪く信号機のない交差点を右折する際、建物の影と右ミラーの死角で横断歩行者が見えにくかった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>歩行者がいるだろうと「かもしれない運転」を心掛け交差点での一時停止をする。</li><li>頭の位置をずらしてミラーでの死角をなくす。</li><li>安全なスピードで走行する。</li></ul>

## 《公道》

<b>5</b>	<b>車両の陰から飛び出し接触しそうに</b>
場所	片側一車線の道路
発生時	運転中
発生状況	停車している車の陰からの飛び出した。
再発防止策	・予測運転をする。

<b>6</b>	<b>歩行者がルール守らずに接触しそうに</b>
場所	一般道
発生時	走行中
発生状況	歩行者が横断歩道を赤信号で渡った。
再発防止策	・左右を確認して歩行者をよく見る。

<b>7</b>	<b>歩行者がルール守らずに</b>
場所	回収場所に行く途中
発生時	運転中
発生状況	1列歩行なのに3列歩行している。
再発防止策	・1列歩行と記載された場所はルールを守る

<b>8</b>	<b>自転車が飛び出し接触しそうに</b>
場所	一般道
発生時	収集場所へ移動中
発生状況	自転車が飛び出してきた。
再発防止策	・かもしれない運転をする。

<b>9</b>	<b>自転車と接触しそうに</b>
場所	収集車の助手席側
発生時	助手が降車してゴミを回収しようとしたとき
発生状況	後方から来た自転車と接触しそうになった。
再発防止策	・降車時は後方確認を徹底し周囲に注意喚起する。

<b>10</b>	<b>自転車と接触しそうに</b>
場所	横断歩道付近
発生時	運転中
発生状況	横断歩道で一旦停止し、歩行者が通行したため発車した。 近くの駐輪場から出てきたと思われる自転車が左後方の死角から斜めに横切った。 発車前のミラーでの確認では居なかつたのでヒヤリとした。
再発防止策	・広角の補助ミラーの設置

## 《公道》

11 自転車と接触しそうに	
場所	松戸市一般道
発生時	収集運搬中
発生状況	交差点で前方の信号機が赤で、前車が停止した。 後ろを走行中の自車と並行していた自転車が急に前方を横断した。 危険を感じ徐行していたので接触を回避できた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K Y T 事例として運転者に周知。</li> <li>・ K Y T 訓練の一環として同様の事例があったときの相手の行動パターンや心情等を情報交換共有し危険予知能力を高める。</li> </ul>

12 自転車と接触しそうに	
場所	T字路
発生時	車の運転中
発生状況	左側から自転車が一時停止せず車に向かってきて接触しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かもしれない運転をし、徐行運転で通行する。</li> </ul>

13 自転車と接触しそうに	
場所	交差点で
発生時	収集運搬移動中
発生状況	左折のため左側車線に移り、左側の歩道を歩く歩行者や自転車に注意しながら交差点に進入した。 横断歩道を渡る女性がおり停車しアイコンタクトで横断を勧め、目の前を横切った。 左折を開始しようとした瞬間に左側から自転車が飛び出してきてヒヤッとした。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 僅かな停止の間にも動きが速い自転車が走ってくることを考えて再発進時にも周辺を確認して発進する。</li> </ul>

14 ミラーと接触しそうに	
場所	収集ルート上の狭い道路
発生時	すれ違うため左に寄ったとき
発生状況	左側の電柱にミラーが接触しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狹路では無理なすれ違いを避け、停車して譲る判断をする。</li> </ul>

15 側溝に落下しそうに	
場所	松戸市一般道
発生時	臨時回収時に初めて車両の停車場所へ向かい、狭路を後退して移動させ停車したとき
発生状況	回収作業で排出場所へ移動する導線で側溝板が破損しており落下しそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めての現場は、移動導線の確保、破損個所の周知、所有者に破損個所の復旧依頼する。</li> </ul>

## 《場内・構内》

16 車両が飛び出し接触しそうに	
場所	回収先
発生時	段ボールを回収後に車道に出ようとしたとき
発生状況	側面より車が飛び出し、急ブレーキを踏んだ。 (接触はなかった)
再発防止策	・左右の確認を怠らないように、集中して運転することを心掛ける。

17 車両が飛び出し接触しそうに	
場所	回収先
発生時	段ボールを回収後に発進しようとしたとき
発生状況	前面道路に出るために頭を出そうとした際、側面より車の飛び出し。 こちらが先に気が付き、接触はなかった。
再発防止策	・注意し発進しているが、改めて何度も確認してから車を動かすようにする。

18 車両と接触しそうに	
場所	トラックスケール周辺
発生時	お客様の搬入計量後、場内進入する際
発生状況	弊社運搬車両が場内に進入する際のスピードが速く、お客様が急ブレーキを踏んだ。
再発防止策	・お客様優先の徹底 ・弊社車両は場内警戒のうえ、最徐行の励行

19 車両と接触しそうに	
場所	プラント内作業棟出入口
発生時	弊社トラックで作業棟から退出しようとした際
発生状況	同作業棟へ進入するトラックと接触しそうになった。
再発防止策	・建屋等見通しの悪い所から退出する際は、一旦停止を行い、必ず前方・左右の安全確認を励行。

20 歩行者と接触しそうに	
場所	回収先
発生時	集積所でアームロール車にてコンテナ荷降時及び発車時
発生状況	集積所に着車する際に歩行者が直後に入り込み、気付かず後退した。 また、積載完了後に発車の際に車体スレスレに歩行者が歩行し危なかった。
再発防止策	・コンテナ積載時は直後が全く見えず、進入時に十分な周囲の状況確認が必要なので バックカメラの装着が必須。 ・発車時は、車両周辺の安全が確認できる迄ブレーキを放さない事。 ・アンダーミラーの確認を怠らない。

## 《場内・構内》

21 歩行者と接触しそうに	
場所	回収先
発生時	車を発進させようとしたとき
発生状況	発進時に前方しか見ておらず、後方から歩行中の歩行者に気が付いていなかった。 アクセルを踏んだ瞬間に気付き、直ぐにブレーキを踏み、ヒヤリとした。
再発防止策	・発進時は、前方だけでなく、左右や後方の確認をして、一呼吸おいてから運転する。

22 歩行者と接触しそうに	
場所	回収施設の構内
発生時	廃棄物回収時
発生状況	後退で回収場所に接車しようと動き出すとその後ろを歩行者が通りヒヤリとした。
再発防止策	・だろう運転はせず、出発前に再度、前方向の確認をして車を動かす。

23 歩行者がルール守らずに接触しそうに	
場所	構内T字交差点
発生時	回収場所に行く途中
発生状況	交差点を左折しようとしたら、後方より歩行者がいたので停車した。 歩行者が通り過ぎて左折しようとしたら横断歩道以外から飛び出してきたので、急ブレーキを踏み回避した。
再発防止策	・常に周りの状況に気を付け、かもしれない運転を心掛けるようにしたい

24 歩行者がルール守らずに接触しそうに	
場所	回収先施設の構内
発生時	廃棄物の回収をしているとき
発生状況	廃棄物を回収後に構内を移動すると走行先の建物が工事中で警備員が歩行者の横断を誘導していた。指示に従い車を発進させようとしたら警備員の指示を守らず、斜め方向から歩行者が走ってきてヒヤリとした。
再発防止策	・誘導の指示だけではなくどんな場所でも自分でもう一度周囲を確認する。

25 カラーコーンに接触しそうに	
場所	施設ストックヤード前
発生時	廃タイヤ搬出後、ストックヤードの整理中
発生状況	残渣搬出トラックが来たため、フォークリフトにて後退でパレットを移動しようとした際、養生していたカラーコーンに接触しそうになった。
再発防止策	・後方の確認不足によるものなので、安全確認の徹底を行う。 ・焦ると安全確認が疎かになるので、常に気持ちにゆとりを持って行動すること。

## 《場内・構内》

### 26 作業員と接触しそうに

場所	積込現場
発生時	現場でバツツクしている時
発生状況	バックしている時に後方を現場作業員が突然横切った。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員に声をかける</li> </ul>

### 27 車両から滑って転倒

場所	客先構内
発生時	積込作業中
発生状況	ごみ収集のため車両から降りたとき、足を滑らせ少し転倒した。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足元をしっかり確認する。</li> <li>・トラック降りをする。</li> </ul>

### 28 荷台から落下

場所	施設搬出室
発生時	回転フォークリフトでアルミ缶成形品をトラックへ積込時
発生状況	パレットを傾け成形品を荷台に落とす際、数個の成形品が荷台の外に落下。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成形品をパレットに高く積みすぎていたので、パレットへの積上げの高さを低くする。</li> <li>・成形品を落とす位置が適切ではなかったため、積込みの際は荷台内の状態を十分に確認しながら行う。</li> </ul>

### 29 緊急時の対応

場所	取引先施設
発生時	自社車両で廃棄物を回収中
発生状況	スマーケ発生装置が作動しホワイトアウト状態になる。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直ちにその場に車両を止め視界が十分に確保できるまで待つ。</li> </ul>

## ヒヤリハット事例【外注作業・その他】

1 運転手の体調不良	
場所	入場車両を誘導作業中
発生時	階段を歩行中
発生状況	<p>プラットホームには入場車両が台貫計量するタイミングからモニターで監視できるが、その時から「この運転手随分と運転下手だな」感じていた。</p> <p>プラットホームの同僚に無線で「今来る軽トラック、運転が下手なようだから誘導をしっかり頼む」と注意を促した。</p> <p>入場後、誘導したがおぼつかず安全なところで停止させた。</p> <p>運転手は会話ができます顔色も悪く様子がおかしいので、助手席の人と運転を代わるようお願いした。</p> <p>運転交代時歩行もおぼつかず明らかに体調が悪そうに思え、直ぐに病院へ連れて行くように伝えた。後日、脳の障害だったと伝えられた。大きな事故にならず安堵した。</p>
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転状況、会話、顔色等が怪しい場合は、個人で判断せず、同僚スタッフに直ぐに報告相談するよう注意喚起した。</li> <li>当施設は、一般者、高齢者も来場するので要注意が必要。</li> </ul>
・高齢者(65歳以上の方)事例	

2 電池がショートし発熱した	
場所	事務所内
発生時	電池使用雑貨等からの電池取り外し作業
発生状況	ボタン電池を取り外し、まとめてプラスチック容器で保管していたが、電池がショートし発熱していた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り外し後、速やかに絶縁を行う。</li> </ul>
3 車両と接触しそうに	

場所	トラックスケールからプラントへ向かう場内通路
発生時	お客様車両が入場する際
発生状況	お客様車両後方より弊社車両が追従及び追い越しをかけた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷下ろし場所を探すお客様車両からは死角となるため、車間距離をとる。</li> <li>徐行・警戒運行の励行</li> </ul>
4 車両と接触しそうに	

場所	場外社員駐車場入り口
発生時	出勤時
発生状況	出勤時駐車場に入ったところ左右から車が動こうとしておりヒヤッとした。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>正面にミラーを付ける又は注意喚起の表示を付ける</li> </ul>

5 車両と接触しそうに	
場所	塵芥処理室と北口塵芥処理室の通路
発生時	カーゴテーナをオアゾから北口に移動中
発生状況	カーゴテーナを移動して角を曲がる際に、車が来ていることに気付き慌てて回避した。 接触はしなかったが、車が徐行していなかったため危ないと思った。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>通路の角は死角になっているので、人や車が来ていないか確認する。</li> <li>他にも危険な箇所があるため、曲がる際は、壁や障害物等にも十分注意して作業する。</li> </ul>

6 車両と接触しそうに	
場所	駐車場側シャッター付近
発生時	清掃時
発生状況	清掃時にシャッターより外に出ていると駐車場内でも飛ばしてくる車があり危なかった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>車が頻繁に通るためグリーンベルト外へ出ない。</li> <li>シャッター側グリーンベルト内で作業する。</li> </ul>

7 制御盤と後頭部の接触	
場所	ホテル塵芥室冷蔵庫前
発生時	冷蔵庫前の側溝を清掃中
発生状況	作業後立ち上がった際に冷蔵庫前の制御盤ボックスに後頭部をぶつけた。
再発防止策	・常に周囲に気を配り、慌てず落ち着いた作業を心掛ける。

8 滑って転倒	
場所	作業場
発生時	床に散らばった段ボールをパルテナに片付け中
発生状況	床に散乱している段ボールの上に乗ったら、段ボールごと滑って転倒した。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑りそうなものの上には乗らない。</li> <li>乗らなければならないときは、細心の注意を払う。</li> </ul>

9 滑って転倒しそうに	
場所	ビル塵芥内、駐車場側
発生時	油分のため滑りやすい状態の床面で段ボールを運搬中
発生状況	安全靴を履いていたが滑って転びそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>油分を取り清掃する。</li> <li>清掃時に点検しながら作業しているが、滑りやすい場所は再度確認しダブルチェックを行う。</li> </ul>

10 給油ホースにつまずき転倒しそうに	
場所	場内給油所
発生時	夕刻に重機へ給油していたとき
発生状況	夕刻の時間帯、給油口他手元が暗く見えづらいことに気を取られ、給油ホースに躊躇しそうになった。
再発防止策	・給油は、夕刻等薄暗い時間帯を避け、朝・昼に行うよう心掛ける。

11 力任せに剥がし転倒しそうに	
場所	プラント内作業棟
発生時	断熱パネルから薄鉄板をはがす作業
発生状況	勢いで転びそうになった。
再発防止策	・力任せの作業にならないよう注意する。

12 靴紐が緩んでいて転倒しそうに	
場所	塵芥処理室内
発生時	バケツを移動中
発生状況	安全靴の紐が緩んでいたため転倒しそうになった。
再発防止策	始業前に必ず靴紐が緩んでいないか確認する。

13 足が滑って転倒しそうに	
場所	屋上
発生時	消防設備点検の作業準備
発生状況	エレベーター機械室の開錠のため最上階へ出た際に、PHへの階段入り口の床が、常時濡れており、藻類が発生し、足が滑って転倒しそうになった。
再発防止策	・排水設備の補修の提案。

14 転倒しそうに	
場所	ペットボトル選別場
発生時	選別作業中
発生状況	足元に落ちているペットボトルを踏み、足を挫きしそうになった。
再発防止策	・足元の整理整頓をする ・高齢者(65歳以上の方)事例

15 台車から落下した	
場所	発泡機の前
発生時	インゴットケースより出している時
発生状況	台車に乗せる時、手を滑らせて靴の上に落とした。
再発防止策	・十分な広い場所で台車に乗せる。

16 瓶のケースが落下しそうに	
場所	ビル
発生時	瓶詰作業中
発生状況	3段以上のケースを積み上げる時に積崩れそうになった。
再発防止策	・安全作業に留意する。

17 作業中の落下物で怪我をしそうに	
場所	事業所
発生時	紙コップ選別作業中
発生状況	作業中にプラのトレイや瓶などが選別コンベヤーに落ちて跳ね返り、体に当たることがしばしばある。
再発防止策	・考慮中

18 カートに挟まれそうに	
場所	塵芥室内駐車場側
発生時	瓶を積載したダストカートを下の段へ移動させようと坂道を下るとき
発生状況	坂道で下の段に置いてあった新聞を積載したカートに瓶の重量が加算し、ダストカートで挟まれそうになった。
再発防止策	・事前に新聞を積載したカートを他へ移動し通りを確保する。

19 袋の破損	
場所	作業場
発生時	廃油を運搬中
発生状況	袋が破れてこぼれかけた。
再発防止策	・袋を二重にし、下から運搬する。

20 手を怪我しそうに	
場所	塵芥処理室
発生時	ガラス瓶の詰込作業中
発生状況	ガラス瓶が割れていた。
再発防止策	・手袋を使用し品物を確認する。

21 手を怪我しそうに	
場所	ビル計量機周辺
発生時	生ごみをお客様のバケツから二輪カートに積替え作業中
発生状況	お客様が抜きやすいようにバケツの縁を押さえてくれた。 生ごみを引っ張り上げると蟹の爪が飛び出していてお客様の手が危なかった。
再発防止策	・バケツを押さえていただくのなら、縁ではなく、外側を持ってもらう。

22 割れた瓶で怪我をしそうに	
場所	ビル塵芥処理室内
発生時	廃棄された瓶を籠に入れているとき
発生状況	割れた瓶が袋内に入っており、知らずに踏んだ。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>中身を確認し、割れた瓶が入っていたら最初に取り除く。</li> <li>通常より頑丈なグローブ等を使用して作業する。</li> </ul>

23 足にキャスターがあたり怪我をしそうに	
場所	冷蔵庫前
発生時	生ごみコンテナ移動計量開始時
発生状況	生ごみコンテナが重く容易に動かすことが出来きず、足にキャスターがあたり怪我をしそうになった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>焦らず慎重に動かす。</li> <li>引くのではなく押す。</li> </ul>

### 《公道》

24 車両と接触しそうに	
場所	バイパス
発生時	左車線を走行中
発生状況	追い越し車線の走行車がワインカーを出さずに割り込み。
再発防止策	・接触を未然に防ぐため、車間距離に十分注意し走行する。

25 車両と接触しそうに	
場所	京葉道路
発生時	側道から京葉道路へ右折に入るとき
発生状況	京葉道路へ右折に入る際、進入レーンが混んでいて車体がはみ出しそうであった。右隣のレーンへ移動しようと右後方を確認し視線を前に戻すと、思っていた以上に前の車との車間が近く、追突するところだった。
再発防止策	・前が詰まっている際の後方確認は、必ず止まって確認する。

26 街路樹が歩道に倒れ車道を通行	
場所	場外駐車場から会社までの歩道
発生時	通勤時
発生状況	朝駐車場から歩道を歩行中に大木が2本倒れており歩道が塞がって通れなかった。仕方なく車道側を通行した。車が来たらと思うとヒヤッとした。
再発防止策	・街路樹が倒れていることが多くなっているので市に依頼し点検をしてもらいたい。

## 《公道》

27 接触しそうに	
場所	作業用道路
発生時	車両運転中
発生状況	強風の夜、見通しの悪い交差点を左折すると、道の中央に横倒しになった看板がありぶつかりそうになった。
再発防止策	・強風で煽られて看板が横倒しになっていた。いつも通る道だと気を抜かず走行する。

28 自転車と接触しそうに	
場所	浦安市一般道
発生時	車の運転中
発生状況	S字カーブを走行中、歩道から自転車が急に飛び出し追突しそうになった。
再発防止策	・S字カーブのため速度はあまり出ていなかった為事故にはならなかった。 ・普段あまり通らない道なので、今後は極力通らないようにする。

労働災害防止計画に基づき会員の皆様から令和7年10月20日

までにお寄せいただいたヒヤリハット事例です。

事例の収集にご協力を賜り有り難うございました。

本事例集は、職種別の事例を掲載しております。類似の災害

防止活動や始礼時の読み合わせ等にご活用下さい。

当協会では平成24年度より「ヒヤリハット活動」の一助、

及び労働災害防止計画に基づき、事例を収集しています。

協会ホームページに過去の収集事例も掲載しています。

#### 【HP検索】

千葉県産業資源循環協会



安全衛生



ヒヤリハット

一般社団法人千葉県産業資源循環協会

千葉県千葉市中央区中央3丁目3番1号

フジモト第一生命ビルディング5階

TEL 043-239-9920

URL <https://www.chiba-sanpai.or.jp/>